

京都大学研究資源アーカイブとは

京都大学研究資源アーカイブは、京都大学における教育研究の過程において作成・収集された各種資料を体系的に収集・保存し、新たな教育研究の資源(研究資源)として運用することを目的とした、大学全体の活動です。対象となる資料は、写真・映像・録音、フィールドノート、研究会記録、講義ノート、論文原稿など一次資料(教育研究のアーカイブ資料)です。

京都大学研究資源アーカイブは、理事を委員長とする全学的に組織された運営委員会により活動方針が決定されます。その活動方針に基づき、運営責任部局を総合博物館、連携部局を学術情報メディアセンターとし、情報環境機構の支援、各部局の協力のもと業務を行っています。

京都大学研究資源アーカイブの利用

京都大学研究資源アーカイブは、**オンライン**、または**映像ステーション**を通じて、様々な研究資源を公開しています。
利用できる研究資源は、①アーカイブ資料、②展示コンテンツ、③映像コンテンツに分けられます。

利用できる研究資源

①アーカイブ資料

アーカイブ資料は、メタデータ(資料の情報)とデジタルデータ(資料をデジタル化したデータ/デジタルの資料)から構成された研究資源です。京都大学デジタルアーカイブシステム(愛称Peek)でオンライン検索・閲覧することができます。Peekには、「パブリックモード」と「研究者モード」*があり、研究者モードにはログイン時にだけ利用できる研究資源があります。

- *「研究者モード」利用は
いずれかのIDが必要

- ECS-ID(京都大学学生アカウント)
 - SPS-ID(京都大学教職員アカウント)
 - 学術認証フェデレーション(学認)参加機関の発行ID
(ログインできない場合、所属機関の認証サービスへご相談ください)

京都大学デジタルアーカイブシステム(Peek)
<https://peek.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>

②展示コンテンツ

展示コンテンツは、研究資源の活用例として、アーカイブ資料を元に作成されたオンラインコンテンツです。現在、4件の展示コンテンツがインターネットで公開されています。

③映像コンテンツ

映像コンテンツは、一次資料として収集された映像、アーカイブ資料を元に作成された映像、研究資源の周知のために作成された映像など、研究資源アーカイブにまつわる様々な映像を指します。映像ステーション個人閲覧用ブースの端末でご覧いただけます(一部、展示コンテンツ内で視聴できる映像もあります)。

研究資源の使用

研究資源の引用・参照

展示コンテンツを文献として引用する場合

「科学技術情報流通技術標準：参照文献の書き方」(SIST 02-2007, <http://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST02-2007.pdf>)の「5.10 ウェブサイト、ウェブページ、ブログ」の例示に準じて記載してください。

例) 京都大学研究資源アーカイブ. “火星スケッチをめぐる”. 1956-1976 宮本正太郎の火星スケッチ. 2012年.
<https://exhibit.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/mars/>, (参照2016-09-08).

アーカイブ資料全体を文献として引用する場合

前掲 SIST 02-2007 の 5.10 の例示に準じて記載してください。

例) “宮本正太郎資料：火星スケッチ, 1955-1976”. 京都大学デジタルアーカイブシステム(京都大学研究資源アーカイブ). 2011年.
<https://peek.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/ark:/62587/ar20931.20931>, (参照2019-01-07).

アーカイブ資料内の特定の資料を参照する場合

以下の例示に準じて記載してください。

例中、「01-02」は対象となる資料の資料番号、「RRA MSS 2008/1」はその資料を含むアーカイブ資料の資料番号です。

例) [無番スケッチ] ([1956VII22]). 01-02, 宮本正太郎資料：火星スケッチ, 1955-1976. RRA MSS 2008/1, 京都大学(京都大学研究資源アーカイブ).
<https://peek.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/ark:/62587/ar20931.53572>, (参照2019-01-07).

引用・参照方法、記載すべき情報がわからない場合、京都大学研究資源アーカイブまでお問い合わせください。

デジタルデータの二次利用

※二次利用：Peekにあるデジタルデータを公開、出版、放映等のために再度使用することを指す

二次利用をご希望の場合は、まず京都大学研究資源アーカイブまでお問い合わせください。その後、「二次利用許可願」をご提出いただきます(「京都大学研究資源アーカイブ特別利用規則」に基づく)。

利用の際は「京都大学研究資源アーカイブ」提供の明示、利用データを改変しない等の条件を遵守してください。利用料が必要となることもあります。

なお、京都大学研究資源アーカイブの研究資源は、学術研究または学術調査、教育の目的以外では利用できません。



京都大学研究資源アーカイブ

利用案内

2022年10月1日 発行

問い合わせ先 **京都大学研究資源アーカイブ**
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館
TEL : 075-753-3278
E-MAIL : kurra-info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp
URL : <https://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>

映像ステーションの利用

映像ステーションは、京都大学研究資源アーカイブの収蔵資料「研究資源」を公開する場です。

個人閲覧用ブースの端末では、資料が登録されている京都大学デジタルアーカイブシステム Peek にアクセスすること、資料を元にした映像コンテンツや展示コンテンツを視聴・閲覧することが可能です。

また、フロアには椅子と机も用意してあります。議論やグループワーク等にご利用ください。

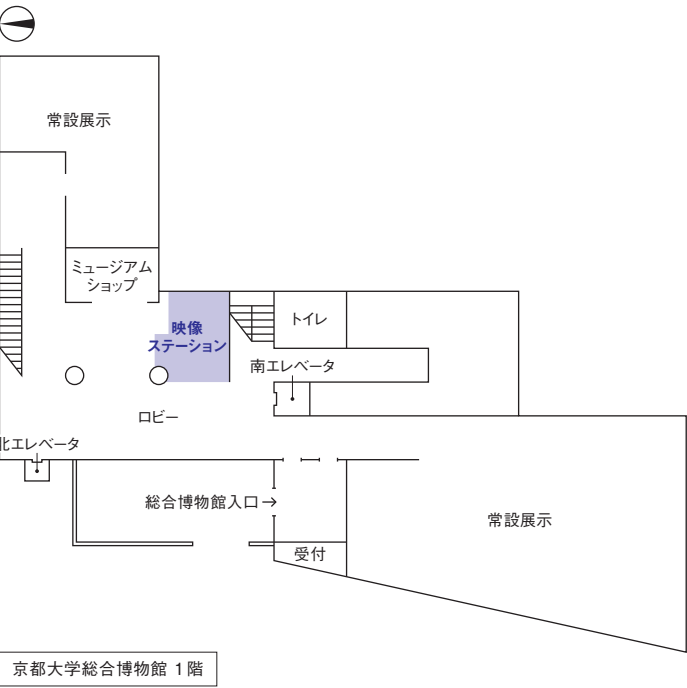
Audio-Visual Station,
Research Resource Archive, Kyoto University

京都大学研究資源アーカイブ
映像ステーション

所在地 京都市左京区吉田本町
京都大学総合博物館 1 階ロビー

※休館日や開館時間などの入館情報は、京都大学総合博物館ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

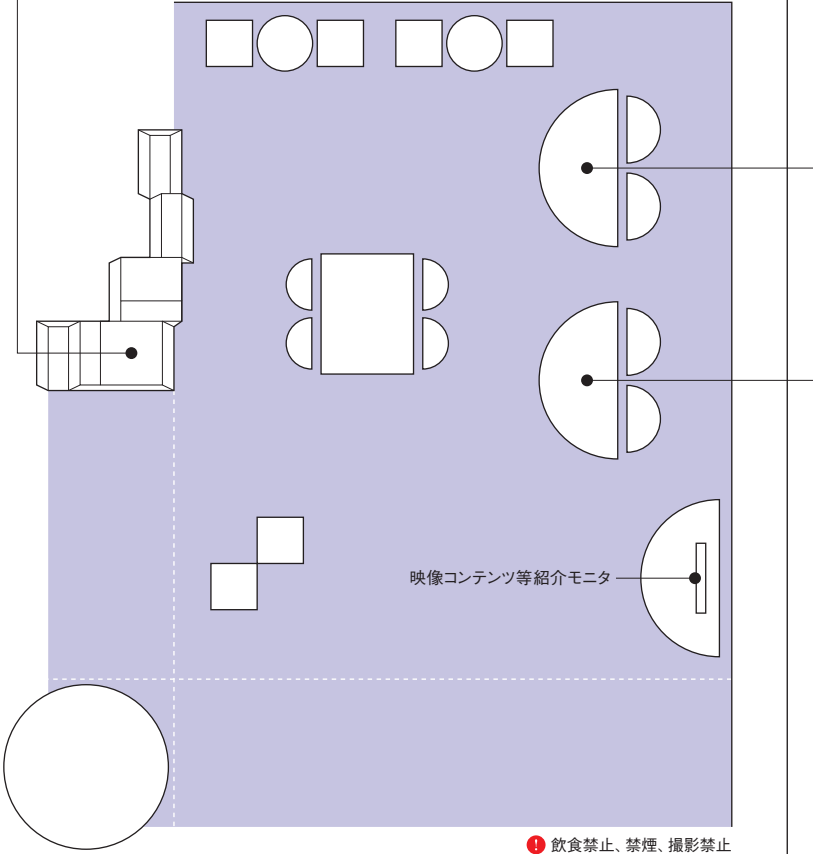


● 棚・展示ケース



ミュージアムショップとのあいだに白い棚があります。棚の上部は展示ケースとなっています。この棚は、原則として、南側とスロープ側に京都大学関係の広報物・案内を置き、北側に博物館展示や学内外行事の広報物・案内を置いています。展示ケース内には、京都大学研究資源アーカイブに関する出版物・資料を展示します。

棚の上に小型プロジェクタを置いて映像ステーション空間の南側壁面へ向けて投影し、小人数の講義・セミナーや上映等に利用できます。



❶ 飲食禁止、禁煙、撮影禁止

● 個人閲覧用ブース

各ブースには、それぞれディスプレイモニター・キーボード・マウス・ヘッドホン(2台)・ステレオスピーカーが備えられています。各機器は、大切に取扱いください。



個人閲覧用ブースは、ステーション内に2ヶ所設置されています。端末内のメニューから、自由に映像コンテンツを選択し視聴することができます。メニューからは Peek にアクセスすることもでき、(映像ステーション限定のものを含めた)アーカイブ資料を検索・閲覧可能です。また、京都大学研究資源アーカイブのウェブサイトから、展示コンテンツを閲覧・視聴することもできます。

個人閲覧用ブースの端末で閲覧可能な映像コンテンツ

アフリカへの道	9分31秒
アフリカ類人猿研究史	9分50秒
中央アフリカの森の民	9分38秒
アフリカでの古人類学調査	7分15秒
東アフリカ乾燥地域の牧畜社会	7分54秒
アフリカ農耕民の世界ーミオンボ林の農耕	13分44秒
アフリカ都市研究の歩み	7分34秒
動きつづける大陸	13分9秒
道は、ひらけるー石井米雄と東南アジア研究	13分16秒
三角緑神獣鏡	11分6秒
征夷大將軍 坂上田村麻呂の墓	9分5秒
無の哲人、禅の思想から日本哲学へ：西田幾多郎	11分16秒
創造的人間、東洋的思考から理論物理学へ：湯川秀樹	13分2秒
湯川秀樹ーその人ー	9分30秒
変動する宇宙の姿ー京都大学の宇宙世界ー	14分28秒
マリア十五玄義図の探究	23分1秒
京都大学	15分14秒
万能細胞(ダイジェスト版)	17分5秒
Save the Earth and Humanityー京都大学 生存圏研究所の挑戦	29分9秒
MUレーダー紹介映画	24分39秒
「河合雅雄資料：霊長類学関係、1959-1975.」関連記録映像1 河合雅雄×山極壽一 対談	108分34秒
「河合雅雄資料：霊長類学関係、1959-1975.」関連記録映像2 河合雅雄×大野照文 対談	93分14秒

(2020年2月現在)